

# ドリム通信

2015年  
10月2日発行  
第70号  
山形県スポーツタレント  
発掘事業実行委員会

## 第3回アスリートキャンプ 開催!



志賀コーチ

田中コーチ



オリンピックを目指す日本代表クラス現役選手



栗木先生

藤本先生



平良先生

二戸部先生



異文化体験プログラムのゲスト



隼輔 穂奈美 ジョーダン アリッサ サラ

秋恵 ヨングユ テウ ダヨン ジョンウル

### ◆9月22日(火)～23日(水) 第3回キッズキャンプ(1泊2日)

参加者：4・5期生28名、6期生26名  
キャンプの全体テーマ「発信する」

- 基礎的運動能力育成プログラム…ねらい：レスリングを通じた基礎的な対人運動スキル及び対人競技における相手への敬意  
講 師：田中幸太郎氏（阪神酒販株式会社所属・専修大学レスリング部専任コーチ）
- 競技別運動能力育成プログラム…ねらい：水球の専門的スキルを学び、ゲームの楽しさを知る  
講 師：志賀光朋氏（全日本大所属・水球日本代表）
- 知的能力育成プログラム…ねらい：目標設定PDCA【4・5期生】ルールとスポーツの価値を知る【6期生】  
講 師：栗木一博氏（仙台大学）藤本晋也氏（仙台大学）二戸部優氏（仙台大学）
- 保護者プログラム…講義：「コーチとしての親の在り方～ワークショップを通して～」  
講 師：栗木一博氏（仙台大学）
- 異文化体験プログラム…ねらい：国際大会前のレセプションをイメージした立食パーティーでおもてなし  
ゲスト：山形大学留学生及び学生10名

今回のキッズキャンプでは、オリンピック出場を狙っている現役の日本代表選手であるレスリングの田中氏と水球の志賀氏のお二人に来て頂き、熱意溢れるご指導を頂きました。「スポーツが成り立つためには相手が必要、だからこそ相手には敬意を持って接すること」「チームで闘う意味、絶対に負けないという気構え」を汗と肌を通して教わることができました。知的プログラムでは、発表やディスカッションを繰り返しながら、自分にはない視点に気づいたり、自分の行動を客観視してみたり、スポーツの価値について様々な角度から意見交換を行いました。保護者の方々も、スポーツ心理学を後ろ盾とした子どもとの接し方など、日頃の悩みを栗木先生とともに共有し、解決の糸口を探りました。異文化体験プログラムでは、英語、韓国語、日本語、山形弁を駆使しながら、豊かな表情とユーモア溢れるゼスチャーで会話を楽しみ、積極的な発信が見られました。オリンピックまでの距離は違いますが、現役の日本代表クラスの選手と目指すものは同じもの同志互いに、良い刺激をもらえたようです。また一段、世界との距離が近づき、キッズが自立したアスリートへの1歩を踏み出したキャンプになりました。

#### <今後の事業予定>

- ・10/10(土)～12(月) 第2回アスリートキャンプ【坊平アスリートヴィレッジ】
- ・10/31(土)～11/1(日) 第4回キッズキャンプ【山形市総合スポーツセンター】

－問い合わせ先－

山形県スポーツタレント発掘事業実行委員会事務局 990-2412 山形市松山二丁目11番30号  
TEL:023-615-6415 FAX:023-615-7933 ホームページ: <http://y-dreamkids.jp/>



FOR ALL SEASONS OF JAPAN

FUTURE IS YOURS!

山形県スポーツタレント発掘事業実行委員会